



**埼玉県サッカー協会は、
世界に先駆けて、
スポーツモラルの向上を目指します**

まずは

**試合中
文句を言わない!**

からスタート

「スポーツモラル」とは……

**ルールやマナー・エチケットを遵守し、試合の公正を保つことが
フェアプレー精神であり、チームメイトや相手選手など、仲間を尊重
する精神がスポーツマンシップです。この2つが「スポーツモラル」の
根幹です。**

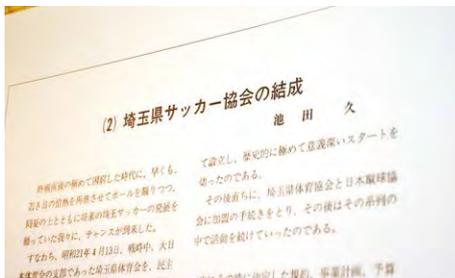
- ① … 埼玉県サッカー協会70周年記念パーティー 1
- ② … 埼玉県サッカー協会70周年記念パーティー 2
- ③ … 埼玉県サッカー協会70周年記念パーティー 3
- ④ … 第10回埼玉県第4種サッカーリーグ選手権大会・トーナメント表・表彰式
- ⑤ … 第10回埼玉県第4種サッカーリーグ選手権大会・宮城・福島・岩手被災地招待試合
- ⑥ … 正智深谷、躍進のベスト8～第95回全国高等学校サッカー選手権大会を振り返る～
- ⑦ … 「関東の中での差をどう埋めるか」～第25回全日本高等学校女子サッカー選手権大会を振り返る～
- ⑧ … 大会記録●県内大会 2種高体連・4種
- ⑨ … 大会記録●県内大会 女子・フットサル ●県外大会 1種・女子・フットサル
- ⑩ … 大会記録●県外大会 フットサル 【技術委員会より】 編集後記

●発行/(公財)埼玉県サッカー協会 〒330-0074 さいたま市浦和区北浦和1-21-18 雁ヶ音ビル204号室 Tel 048-834-2002・Fax 048-834-2004 <http://www.saitamafa.or.jp/>

「埼玉県サッカー協会70周年記念パーティー」を開催

～12月17日 ラフレさいたま～

12月17日、ラフレさいたまに於いてパーティーを開催しました。上田清司・埼玉県知事をはじめ多数のご来賓の方々をお招きする中で、懐かしい諸先輩方のお元気なお姿を拝見でき、また現在の県協会を支える現役世代の皆さんがそれぞれの交流を深め、この70周年を祝っていただきました。その様子を写真で振り返ります。



県立浦和高校・室内楽部の皆さん

シニア連盟の皆さん



仲西駿策・元専務理事(中)と、東城穰・国際主審(右)



ご来賓の宮崎栄治郎・埼玉県議会議長(左)、清水勇人・さいたま市長(中)、上田清司・埼玉県知事(右)



横山謙三会長のあいさつ



乾杯は相川宗一名誉会長





栄光を振り返る映像を上映



松本暁司・元会長



坂村岱氏



大山照人氏



田島勝彦氏



森 正志・大宮アルディージャ代表取締役社長(左)、淵田敏三・浦和レッドダイヤモンズ代表取締役社長(右)



広羽良一・元事務局長





第10回埼玉県第4種サッカーリーグ選手権大会 ～12月23日を振り返る～

晴天に恵まれた12月23日、埼玉スタジアムにおいて第10回埼玉県第4種サッカーリーグ選手権大会の準決勝と決勝が開催されました。484チームの頂点に立ったのは、新座片山フォルティシモでした。

主催 (公財)埼玉県サッカー協会
 主管 (公財)埼玉県サッカー協会第4種委員会
 後援 埼玉県/NHK さいたま放送局/テレビ玉 FM NACK5 /埼玉新聞社

協賛    
 特別協力  



決勝 新座片山フォルティシモ vs 浦和レッドダイヤモンズ J



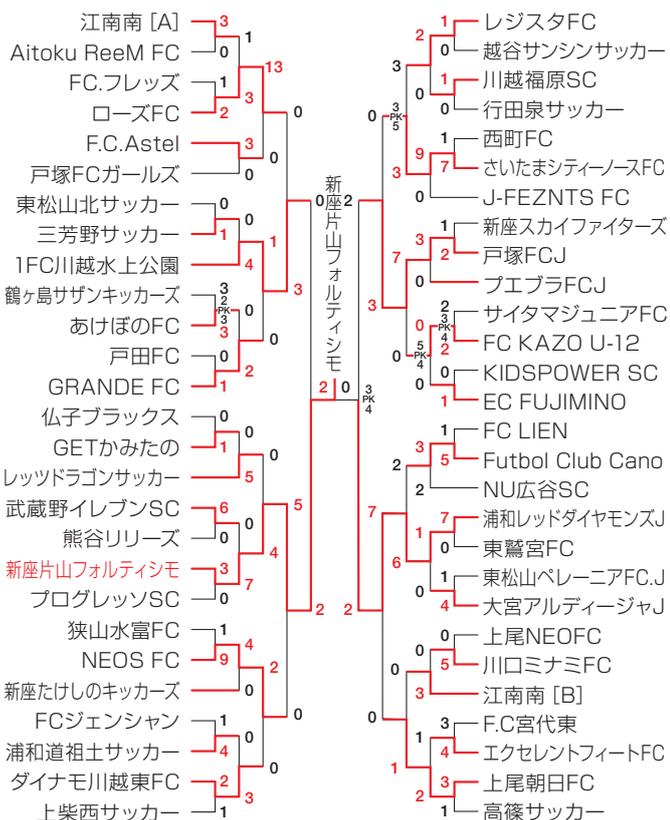
決勝 新座片山フォルティシモ vs 浦和レッドダイヤモンズ J



準決勝 新座片山フォルティシモ vs FC川越水上公園



準決勝 浦和レッドダイヤモンズ J vs 戸塚FCJ



表彰式



横山会長とともに



優勝した新座片山フォルティシモ



チャリティー豚汁販売



キッズエントリーマッチ



キッズエントリーマッチ



ミニサッカーゲーム



ココココ PK 対決



ココココ PK 対決



ミニサッカーゲーム



スタジアム見学ツアー



リーグ戦写真展



ティーパーティー



ティーパーティー

宮城・福島・岩手 被災地招待試合

今回も東日本大震災で被災した子どもたちを招待して、県内チームと埼スタのメインピッチで親善試合を行いました。震災を風化させることなく、そして東北3県の子もたちと県内の子どもたちの交流を育んでまいります。



GET かみたの vs 福島県中トレセン



エクセレントフィート vs 古川杉の子



NU 広谷 vs 岩手沿岸



また埼スタに戻ってきてほしいと願っています

正智深谷、躍進のベスト8

～第95回全国高等学校サッカー選手権大会を振り返る～

【出席者】

正智深谷高校サッカー部監督 小島 時和 氏
 県高体連サッカー専門部技術部長（県立越谷総合技術高校教諭） 大森 健司 氏
 県高体連サッカー専門部技術部員（県立大宮南高校教諭） 大野 恭平 氏

経験値は上がった

—まずは小島監督に振り返っていただきましょう。そこにお二人から質問をお願いします。小島さん、県内の皆さんに自信を与えていただいたベスト8でした。お疲れ様でした。

小島 ありがとうございます。昨年に引き続き2年連続3度目の出場となり、3回目ですから「ぜひ初勝利を」というプレッシャーもありました。どう勝つのか、なぜ勝ち切れないのか……そういうことを考えて臨みましたが、2年連続というのは同じステージであってもいろいろなものが見えるようになったと思います。経験値のお陰が出ましたね。

1回戦の立正大湊南は常連校であり、前線の選手はヘディングが強く、周りがいいサポートをして得点を取るチーム。この相手にどう守るかがカギでしたが、持ち味である「堅守」ができたと思います。先制されながらも、リズムを変えて攻めるという良さも出て追いつき、逆転勝ちができました。

2回戦は関東第一高校。退場者が出て、PKによる失点で劣勢の中、チームスタッフの連携と最後まで諦めない気持ちが出た試合でした。この勝利で3回戦はリラックスしてできましたね。

そして青森山田戦ですが、相手はGKからの縦に速いフィードから、前線の決定力の高さが持ち味でした。どうなるとピンチになるかを考えたら、ショートカウンターをやったら慌ててしましたね。とはいえ、相手が決めるだろうところでしっかりと凌ぐという当たり前のことができるかどうか、ポイントだったと思います。

差を感じましたね、選手個々の。そこを突き詰めていくのが課題ですが、自分たちがやってきたサッカーもそうですが、昌平も高校総体でベスト4と埼玉県は全国で勝負できる県だと思えます。全国大会へ行くために個の育成をしているのです。やはり大会の中で勝って、選手たちは自信をつけて、それまでできなかったプレーができるようになるなど発見もありました。私自身、いい準備ができていたのでしょうか。スタッフと連携して選手交代は上手くできたと思いました。高校総体では勝ったことはありませんが、高校選手権は違います。ステージ、注目度が違いますから、慣れていないと冷静になれないのです。準々決勝まで行くと慣れるのです。余裕が出てきます。青森山田は連続20回も出場しています。全国大会での戦い方を知っているのですね。改めて、出場3回目でこういう経験ができてよかったと思います。埼玉にもチャンスはあります。少しですけど、強豪校の背中が見えたかなと思っています。まあ、組み合わせにも恵まれたところもあるかもしれませんが。

大森 大会慣れたことで、短期間での勝負、疲労や負荷、精神状態など予想の範囲内になっていくものです。組み合わせとしては、野洲や広島皆実のほうが力的に強かったという評価もありますが、いろいろなことで高校生は左右されます。

そんな中、慣れているのは青森山田ですよね。チャンピオンシップでも優勝して、同じ舞台で決勝ということも追い風になったのかもかもしれませんね。

大野 正智の強さは、1試合を通じて考える力をもっていることです。試合の流れを見てコントロールできるベンチワークと選手の質。西武台が清水（慎太郎・大宮アルディージャ）を擁してベスト8に入って以来のことで、この結果は素晴らしいと思います。県予選を連続で優勝できたということによる慣れ、経験という

のは大きいというのを改めて感じているところです。

初戦の立正大湊南戦も厳しい試合となりましたが、しっかり後半に入って逆転できたのは、県大会から続いて洗練された力があってのことだと思います。

小島 県大会でもしっかり守って、勝負どころで田島（帆貴）を入れるというパターンでしたが、全国大会では未知数でしたね。しかし、意外とできたなという手応えはありました。

大野 田島が入ると、1.5列目のところにボールが収まるんですね。

小島 大会前に練習試合として、ドリブルサッカーの聖和学園とやり、その次に日本一の攻撃と守備を体験しようと市立船橋とやり、判断を含めたスピードに慣れたのは大きかったですね。その後、遠野（岩手）に3発入れられて負けて、最後に桐光学園と引き分けました。後半に田島を入れるとエンジンがかかるという形で進めましたね。

また振り返りになりますが、青森山田戦は、ロングボールの質が違いましたね。GKからFWに入って、それでシュートですからね。やられました。失点場面もスローインからの形とロングスロー、そしてオウンゴールとシンプルな形での失点でしたから悔しいですね。

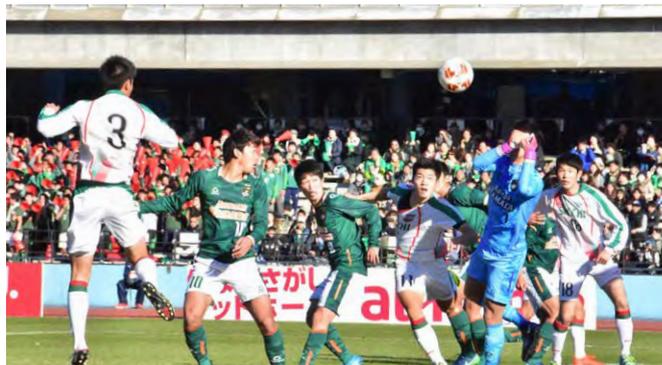
大森 すべて“たら”“れば”ですからね。決めてくれれば（笑）。青森山田は決勝で三本のパスでシュートでしたから。究極のダイレクトプレーを見せてもらいました。GKからいいパスが出るのがわかっていて、守から攻への切り替えを徹底していたら、あのようになるのですね。

ロングスローを舐めていた

小島 GKがすごかった。彼のキックで80mのパスを通すのだから。サッカーの概念を変えてしまいますね。昔、僕は飛ばないボールをどう飛ばすかで苦労したのに（苦笑）。ロングスローもしかり。こうなったら、グラウンドをもっと広くしたほうがいいのではないかと思いますね（笑）。私は、ロングスローを舐めていました。あれも一つの戦術であり、“武器”は持つべきですね。

大森 以前、ワールドカップでベルギーの選手が相手ゴールまで投げていたのかな？ そういう話がありましたね。そういうことを続けていくとロングスローに対する守備のレベルは上がると思いますが、サッカーファンは嘆くでしょうね。

大野 それが小、中でも浸透していくのは怖いですね。育成年代では、しっかりボールを止める、蹴る、運ぶができるようになってもらわないと。



—現実的には、4種の試合を観ているとそういう場面はかなりありますね。

小島 ルールとしてOKですからね。そこで「高校サッカー」としてはどうなるかという議論も出てくるでしょうが、ロングスローに対抗できる守備ができるかどうかが問われることになるのでしょうかね。

大森 JFAでは、育成は16歳までとしています。17歳からは「戦う」年代です。体格など個人差がありますからね。それが個性となり、特徴になるのですから。

小島 そうですね。「高校サッカー」も勝つためにやっています。そのために策を練っているのですから。これからも進化があるのでしょうか、この枠組みの中で考えていくことになりそうですね。

埼玉県のレベルを上げていきたい

—さて小島さん、2種の年代の指導者として3種、4種の指導者の皆さんに何かメッセージはありませんか。

小島 それはおこがましいですよ。基本的に止めて、蹴るができれば周りが見えてきます。私が、ということではなく、「いい選手ってどういう選手？」というものを示していただけないかなと思います。そのためには、その選手のレベルを理解しなければならぬと思います。先日、PKのキッカーが外して跳ね返ったボールを自分でゴールしたことがありました。聞くと「ルールを知らなかった」と。これは私の責任です。このように、知識や技術を教えることは大切ですね。

大森 埼玉は3種、4種でよく育ててくれていると思います。アベレージ的には高いと思います。ただ、ピラミッドになっていないのが問題で、4種から3種、そして県外に流れるという構図になっています。本当に県内の高校に魅力がないのか、いい選手が育っていないのか？ そうではないと思っています。近年、高校総体で武南が準優勝しましたし、今年度は昌平が3位になりました。高校選手権を見ても、結果的に負けていますが、上位に入賞したチームに対して互角、それ以上の展開を見せていました。もう一度、「魅力」を考えていただきたいですね。子どもたちもそうですが、保護者の皆さんに。

レッズもアルディージャもプレミアリーグを戦い、昌平から松本(泰志・サンフレッチェ広島)、針谷(岳晃・ジュビロ磐田)がJクラブに入りました。埼玉は復活できると思いますし、復活しつつあると思います。そのためには結果を出すしかありませんね。

—今年、正智深谷OBのオナイウ阿道選手がジェフ千葉から浦和レッズに移籍してくれました。こういうことも大きな話題です。

大野 現在、私はU-14県トレセンのスタッフに入っています。現時点ではレッズ、アルディージャの選手たちは入っていませんが、街クラブや中体連の選手たちもポテンシャルはありますし、関東トレセンリーグでも、互角以上の戦いをしています。ただ、この時期でも進学の話の中では県外のチームの名前が出てきます。高校選手権に出やすいとか、プロになりたいからという話も合わせて。それが埼玉だと、どのチームが出てきてもおかしくない状況ですからね。保護者の皆さんに、魅力的な高校があることを情報発信していく必要があると思います。

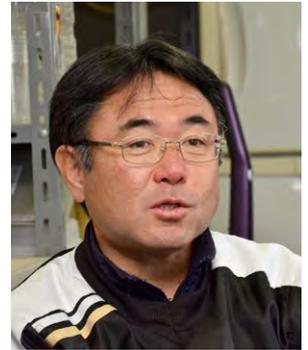
大森 県ではU-16までのトレセンを行っています。経験というよりも、個人の能力を上げることに力点を置いています。強いチームを作るのではなく、いつもと違うコーチからアドバイスをもらい、開眼してくれればいいのです。U-16県トレセンは平日の夜、駒場での開催なのに、どのチームからも快く選手を出してもらっています。

同じ高校生を指導している立場として、対戦して負けると悔しいですけれども、活躍してくれるのはうれしいものです。彼ら一人ひとりが「埼玉の財産」ですからね。私たちも責任を持って取り組んでいます。実際、所属の監督からトレセンに参加してから成長したという言葉をいただいています。ぜひ、いい選手は埼玉に残ってほしいですね。

大野 やはり経験は大きな財産になるんですね。正智深谷にはぜひ来年度も高校選手権に出場して、今年以上の成績を目指してほしいと願っています。でも、そういう正智深谷に対して、県内の他のチームが「負けたくない」という気持ちを持って、日々の練習や試合に臨むことで「埼玉県」がいい方向に向かっていくと思います。

小島 ありがとうございます。2年連続で出場したことに甘んじることなく、今年も同じラインで切磋琢磨し、埼玉県のレベルを上げていきたいですね。それで全国で負けない県になっていきたいものです。

—皆さん、お忙しいところ、ありがとうございました。



大森 健司 氏

「関東の中での差をどう埋めるか」

～第25回全日本高等学校女子サッカー選手権大会を振り返る～
花咲徳栄高校女子サッカー部 末 貴光監督に聞く

全日本高等学校女子サッカー選手権大会といえば、1993年から96年まで埼玉県勢が優勝するなど華々しい時代がありました。現在は全国的に群雄割拠の時代となり、県勢の上位入賞はなかなか難しい状況です。そのような中、第25回全日本高等学校女子サッカー選手権大会において、初出場の花咲徳栄が関東第7代表ながら1回戦を突破しました。関東の枠も限られており、県で優勝しても毎回出場できるわけではなく1回戦を突破したのは、第18回大会に出場した本庄第一以来となりました。そこで、今回のチーム状況及び、関東、県内における高校女子サッカーの現状をお聞きしました。



末 貴光 監督

関東7位は想定内

—お疲れ様でした。県勢としては非常に大きな1勝だったと思います。

末 ありがとうございます。選手権は初めてでしたが、昨年(2015年)の高校総体に初出場し、2年連続で全国大会に出場できたことが要因だと思います。昨年の高校総体では前日に入って試合に臨んだのですが、思うように力を発揮できず、残念な結果に終わりました(1回戦、PK戦で敗退)。そこで今回は3日前に現地へ入り、事前に関東の優勝チームである湘南学院さんと練習試合をやって1

回戦に入ることになりました。1年生が多かったものから、この試合で精神的に落ち着いたようで、チームとしてもいい準備ができたことが1勝に繋がったと思います。

—近年、結果が出ています。昨年は関東大会で準優勝しての高校総体、今年もしっかり関東予選を勝ち抜いて高校選手権へ出場を果たされました。

末 関東予選では7位でしたけれど(苦笑)。メディアの皆さんからは「毎試合毎試合しびれたのでは？」と聞かれましたが、今回は想定内でした。ただ、順位決定戦の初戦で日本航空さんに負けた時点で、気分転換をしなればと思ったんです。

そこで校長先生に「7位決定戦に回ることにになりました」と連絡をしたら、「みんなの前で選手たちに発言させたら」という助言をいただきました。宿舎から少し歩いたところで夕食を摂ることになっていたこともあり、そこまで風に当たりながら歩くことも気分転換になりましたが、三年生全員と二年生、一年生は代

表がそれぞれ今の想いを発言してくれました。涙あり、笑いあり……いいアドバイスをいただき選手たちもリラックスできたと思います。

例えば、三年生だとここで負けたら引退です。それもチームキャプテンの入試とこの7位決定戦の日程が重なってしまったんです。ただ、ここでチームがまとまったと思います。下級生たちから「まだまだ三年生とサッカーを続けたい」という思いが伝わり、幕張総合さんに3-1で勝ちました。

あと、今回のポスターの撮影はウチで行ったものですから、なんとか行きたかったですし、縁があったかなと思っています(笑)。

埼玉県でプレーすることが「チャンス」

—実際に全国の1回戦はいかがでしたか。

末 残り10分で0対0でしたので「これはPK戦かな」と思っていたのですが、相手の足が止まってきた中でゴールが決まりました。とにかく一つ勝ってベスト16に入ったことはうれしかったですね。選手たちを信じていましたが、よくやってくれました。高校総体は16チームの大会ですが、高校選手権は32チーム。勝ってベスト16というのは重みがありましたね。

—1回戦を突破し「次も」という気持ちもあつたと思います。

末 2回戦の相手は修徳さんでした。「十分にけるぞ」という思いはありましたが、開始10分で2失点してしまい、最後まで攻め続けての結果だったので、実は清々しかったです。昨年の関東大会決勝では0対2でしたが、引いてしまったこともあり悔いが残っていたんですね。

とにかく東京はレベルが高いです。埼玉からも多くの子どもが進学しています。関東の中で見ても、東京と埼玉では差を感じてしまいます。東京だけでなく他県もそうですが、アンダーの代表がいたり、関東トレセンに入っている選手たちがいるチームと対戦するのですが、こちらは県トレセンが最高という子どもたちばかり。チームワークで勝つしかないかなという感じではあります。

—その差は一つの高校だけでなく、県内全体で受け止めて改善しなければならぬことだと思います。何かお考えはお持ちですか？

末 U-15、3種年代との連携ですね。さらには1種、進学を含めた大学との連携となると思います。県外に出ていく選手に「埼玉でがんばろう」と思ってもらえることが大事ですね。今、埼玉の高校にはチャンスがあり、面白いと思うのですが。

あと全国に出て来るチームは、皆さん、しっかり分析をしてきます。そういうところはもっと見習わないといけないと思いますね。

—最後になりましたが、花咲徳栄女子サッカー部としての特徴を一言でいうと？

末 部員が辞めないのが自慢ですね。一年生で半年続けてくれれば最後までがんばってくれます。チームスポーツですから選手同士、仲が悪いのはイヤなんです。ですから、部訓は「心ひとつ」です。

—さらなる飛躍を期待しています。ありがとうございました。

第25回全日本高等学校女子サッカー選手権大会

12月30日～1月8日 ノエビアスタジアム神戸他

1回戦 花咲徳栄高校 2-0 福岡学院高校

2回戦 花咲徳栄高校 0-5 修徳高校

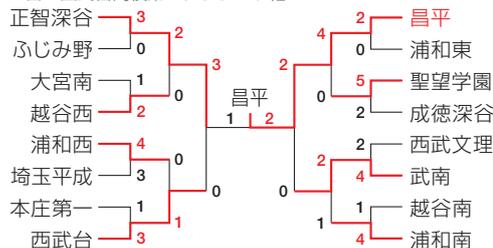


大会記録 ● 県内大会

2種・高体連

平成28年度 埼玉県高等学校サッカー新人大会

2月4日～18日 西武台高校第2グラウンド他



※優勝は昌平高校

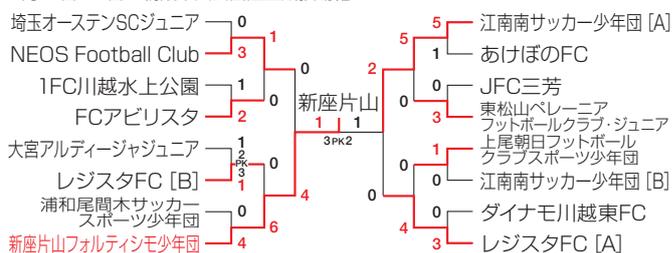


決勝 正智深谷 vs 昌平

4種

第11回埼玉県第4種新人戦中央大会

2月12日、19日 朝霞中央公園陸上競技場他



※優勝は新座片山フォルティシモ



決勝 新座片山フォルティシモ vs 江城南 [A]

女子

2016年度第9回(公財)埼玉県サッカー協会会長杯 兼 第38回埼玉県女子サッカー選手権大会

11月30日～12月18日 埼玉スタジアム第4グラウンド他



※東京国際大学は初優勝



優勝 東京国際大学

埼玉県女子ユース(U-15)サッカーリーグ大会 ●全日程終了

順位	チーム名	勝点	勝	分	負	得点	失点	得失差
1	ちふれASエルフェン埼玉マリ	27	9	0	0	29	4	25
2	1FC川越水上公園メニーナU-15	20	6	2	1	34	9	25
3	白岡SCL	19	6	1	2	28	4	24
4	十文字ベントスJrユース	18	5	3	1	20	7	13
5	大宮FCエンジェルス05	11	3	2	4	14	10	4
6	戸木南ボンパーズFC	10	3	1	5	13	13	0
7	FC熊谷PRECIOSA	8	2	2	5	11	19	-9
8	クラブ与野レディース	7	2	1	6	12	33	-21
9	AC館林フェリス	7	2	1	6	10	31	-21
10	大宮FCエンジェルス09	1	0	1	8	2	41	-39

※優勝したちふれASエルフェン埼玉マリは関東2部の入れ替え戦に参加する

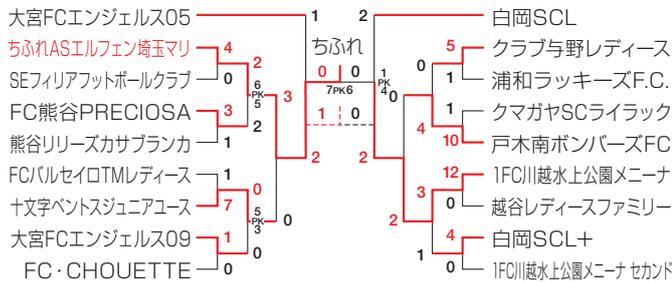
埼玉県女子ユース(U-15)サッカー選手権大会



※優勝は浦和レッドダイヤモンドレディースJrユース

埼玉県女子ユース(U-15)サッカー秋季大会

11月12日～23日



※優勝はちふれASエルフェン埼玉マリ

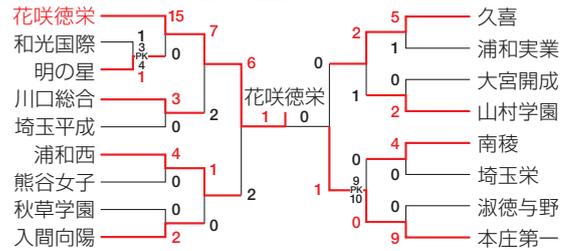
埼玉県女子ユース(U-14)サッカー新人戦大会



※優勝は浦和レッドダイヤモンドレディースJrユース

平成28年度埼玉県高等学校女子サッカー新人大会

1月9日～2月12日 東松山市立岩鼻陸上競技場



※優勝は花咲徳栄(2回目)



優勝 花咲徳栄高校

フットサル

SuperSports XEBIO

平成28年度第16回埼玉県フットサルリーグ1部2016

●全日程終了

順位	チーム名	勝点	勝	分	負	得点	失点	得失差
1	烏天狗/IMPERIO浦和FC	27	9	0	1	59	25	34
1	アルティスタ埼玉	27	9	0	1	38	21	17
3	デールさいたま	19	6	1	3	47	25	22
4	F&F iwatsuki	16	5	1	4	22	27	-5
5	FC九龍	13	3	4	3	19	25	-6
6	Collection	11	3	2	5	35	40	-5
6	GRANDE	11	3	2	5	27	35	-8
6	レスト戸田FC	11	3	2	5	27	48	-21
9	坂戸龍門	9	2	3	5	27	32	-5
9	pal:wo	9	3	0	7	36	42	-6
11	Midfield F C	4	1	1	8	21	38	-17

大会記録●県外大会

1種

日本スポーツマスターズ2017 関東予選会

2月11日、12日 熊谷市スポーツ文化村「くまびあ」

1回戦 埼玉県選抜 OVER 35 4-1 群馬選抜O-35

代表決定戦 埼玉県選抜 OVER 35 1-0 エリースFC DX

※埼玉県選抜 OVER 35と千葉県OVER 35選抜が本大会へ出場する

女子

2017年度第23回関東女子サッカーリーグ ～2部入替トーナメント大会

1月21日～29日 東京国際大学

1回戦 山梨学院大学 3-0 ちふれASエルフェン埼玉マリ

※東洋大学が関東2部に昇格し、日本航空高校が関東2部に残留した

フットサル

第22回全日本ユース(U-15)フットサル大会 関東大会

10月29日、11月27日 エスフォルタアリーナ八王子他

グループB

ESPORTE CLUBE JOGADOR A 7-10 ACカラクテル

ESPORTE CLUBE JOGADOR A 1-6 プログレッソン佐野FC A

※優勝したACカラクテルと準優勝のフウガドールすみだウイングスが本大会へ出場する

第7回全日本女子ユース(U-15)フットサル大会 関東大会

10月29日、11月27日 エスフォルタアリーナ八王子他

1回戦 SEフィリアF.C. 2-4 CANA CRAVO FC

※優勝した十文字中学校が本大会へ出場する

第22回全日本フットサル選手権関東大会

1月14日、15日 神奈川県立体育センター

1回戦 烏天狗IMPERIO浦和FC 2-8 リガレ東京

イワツキフットサルクラブ 0-2 ファンフッシュビラー山梨

※優勝はASVベスカドーラ町田アスピランチ

トリムカップ第9回全国女子選抜フットサル大会関東大会

1月28日、29日 澁川市総合体育館

1回戦 埼玉県 3-1 茨城県

準決勝 埼玉県 3-4 千葉県

※優勝した東京都と準優勝の千葉県が本大会へ出場する

第4回 FUTSAL 地域女子チャンピオンズリーグ supported by GAVic

2月2日~4日 宇都宮市立清原体育館

Bグループ SAICOLO 14-1 MESSE SENDAI LADIES

福井丸岡RUCK 3-3 SAICOLO

ASTRO鹿児島 2-3 SAICOLO

準決勝 SAICOLO 1-2 arco-iris KOBE

※SAICOLOは3位。優勝はarco-iris KOBE

【技術委員会より】**●平成28年度第2回埼玉県GKキャンプ実施報告**

平成28年12月4日

(日)埼玉スタジアム

2002第4グラウンドにて第2回埼玉県

GKキャンプを実施

しました。今回は県

内U-14、U-13の

選手を対象に県トレ

センや地区トレセン、

各地区で行われているGKトレーニング

参加者の中からセレクトし、U-14が18名、U-13が13名の選手

が参加しました。指導は県GKプロジェクトの指導者10名が担当

し、U-14は県U-14トレセンGKコーチの中村和彬氏(栗橋北

彩高校)、U-13は県U-13トレセンGKコーチの滝口陽介氏(蓮

田松韻高校)がメインコーチとしてトレーニングにあたりました。

トレーニングテーマはU-14ではブレイクアウェイ、U-13では

シュートストップでした。U-14では、積極的にボールにチャレ

ンジする様子が数多く見られました。U-13では基本姿勢やポジ

ショニングを意識しながら安全確実にシュートストップするこ

とを心がけていました。参加人数も多く、一人ひとりがチャレ

ンジする姿勢を前面に出し充実したトレーニングを行うことができ

ました。今年度のGKキャンプは全て終了しましたが、また次年度

に選手が充実したGKキャンプができるよう指導者もレベルア

ップしていきたいと思

います。

報告者:塚本卓司(埼玉県GKプロジェクト/県立上尾鷹の台高校)

●サッカーコーチアカデミーの開設にあたって

埼玉県サッカー協会第3種委員会技術委員長

越谷市立西中学校 山崎 勉

育成の鍵は、指導者が握っていると言われてい

ます。育成の現場では、若い指導者も増え、熱心にサッカーの指導に取り組ん

でいます。そして、サッカーを指導する上で必要な知識を学ぶこ

とや、指導力を向上させたいと願う指導者が増えています。そ

こで、第3種委員会では、県内指導者の資質向上を期すことを目的

に、コーチアカデミーを開設しました。

今回のコーチアカデミーでは、浦和レッドダイヤモンズや大宮

アルディージャの協力を得て、講座を受け持

っていただきました。また、受講生は若い指導者を中心に、44名が参加し、講義形式

の座学や実技、指導実践などを通して、理解と実戦力を養うカリ

キュラムで行いました。受講生からは「熱心に指導していただき、

知識と共に『育成への意識』を高く持たなければと改めて実感した」「一方的な講習ではなく、参加者同士のディスカッションの場も多く、さまざまな考え、意見に触れることができてよかった」「どのようなコーチングをすればよいかを知ることができてよかった。また、指導者同士の交流という面でも有意義な時間を過ごせた」と感想をいただきました。

最後に、来年度もサッカーコーチアカデミーを開設する予定です。種別に関係なく、希望者には参加していただきたいと思

います。5月頃に募集しますので、関心のある方は遠慮なく、下記まで問い合わせください。

山崎 勉 yama-dreams@wit.ocn.ne.jp

**【参考】平成28年度の開設要項と実施内容****埼玉県第3種サッカーコーチアカデミーの開設要項**

- 1 主催 埼玉県サッカー協会第3種委員会
- 2 協力 浦和レッドダイヤモンズ、大宮アルディージャ
- 3 実施日、時間、内容

- 第1回 6月4日(土) 19:00~21:00
テーマ 大宮アルディージャの育成指針、なでしこの戦い
講師 大宮アルディージャ 中村順氏、倉本和昌氏
- 第2回 6月26日(日) 16:00~19:00
テーマ 埼玉県TCとレッズU-14のゲーム分析
講師 浦和レッドダイヤモンズ 村松浩氏
- 第3回 7月9日(土) 16:00~18:00
テーマ パスの3原則、ポゼッション→ゲームにつなげる
講師 大宮アルディージャ 倉本和昌氏
- 第4回 9月3日(土) 19:00~21:00
テーマ ポゼッション・中盤の崩し
講師 浦和レッドダイヤモンズ 村松浩氏
- 第5回 9月18日(日) 13:30~18:00
テーマ 講義「日本代表強化指針育成への示唆」
実技 「ナショナルトレセンU-14の落とし込み」
講師 浦和レッドダイヤモンズ 村松浩氏
- 第6回 10月15日(土) 18:00~20:00
テーマ 前線の崩し
講師 浦和レッドダイヤモンズ 村松浩氏
- 第7回 12月3日(土) 19:00~21:00
テーマ 大宮アルディージャアカデミーのフィロソフィー
講師 大宮アルディージャ 倉本和昌氏
- 第8回 1月14日(土) 19:00~21:00
テーマ 指導実践
講師 浦和レッドダイヤモンズ 村松浩氏

インフォメーション**●「埼玉国際サッカーフェスティバル」2017開催**

3月18日から3日間「埼玉国際サッカーフェスティバル2017」を開催します。今年度からの初の試みでU-15男子、U-16男子、そしてU-18女子と3カテゴリーにおいて県内の選抜チームや単独チームが県外、海外のチームと対戦します。県内各地で試合が行われますが、各カテゴリーの決勝戦は、20日に浦和駒場スタジアムとレッズハートフルフィールド駒場が舞台となります。詳細は埼玉県のホームページ(スポナビ!サイタマ! https://www.pref.saitama.lg.jp/spo-navi/approach/soccer_festival/top.html)でご確認ください。



今回は変則的に11ページになっております。冒頭にSFAの新キャッチフレーズとなる「試合中 文句は言わない!」を入れました。これから各種別委員会・連盟、各専門委員会から様々な連絡が入ると思います。SFAとしては、具体的な取り組みを始めます。皆さん、ご理解とご協力をお願いします。(荒川)